

03-02 主要施策による収支改善効果試算(億円)

	2014 実績	経営改善による効果				計
		16計画	路線廃止	上下分離	新幹線高速化	
鉄道						
営業収入	757	859		57	22	938
営業費用	1,171	1354	-158			1,196
営業損益	-415	-495	158	57	22	-258
関連事業						
営業収入	69	61				61
営業費用	44	31				31
営業損益	25	30				30
営業損益	-390	-465	158	57	22	-228
経営安定基金運用益	364	226				226
鉄道建設・運輸施設整備支 援機構特別債券受取利息	55	55				55
その他の営業外収支	15	9				9
経常損益	44	-175	158	57	22	62

(主な前提)

- ①路線廃止は、JRが単独で維持できないと公表した線区を全て廃止したものととして、経費が全てゼロになるものとして金額を算出している。
- ②上下分離については、札幌～長万部を分離し、青い森鉄道並みのキロ当たり線路使用料(フルコスト)が入るものとして、金額を算出している。
- ③新幹線高速化については、JR北海道が想定している新幹線売上(111億円)が、国土交通省の想定を踏まえ、1.2倍になるものとして、金額を算出している。

(注)2015の営業損益は△447億円、経常損益は△22億円
 2016の営業損益は△533億円、経常損益は△235億円の見込み
 2017の営業損益は△505億円、経常損益は△189億円の計画